

上越市シルバー人材センター機関紙

生きがい

第 69 号

発行 令和2年1月1日
(公社)上越市シルバー人材センター
本所 上越市西城町1-12-4
Tel. 025-522-2812
頸北支所 上越市柿崎区柿崎6405
Tel. 025-536-6100
編集 広報対策部会
印刷 (有)大貫印刷所

迎春

2020



「白鳥・頸城区」撮影：広報 関川雅夫

年頭にあたって



理事長 井部 博光

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様には、令和最初の正月となりますが、お健やかな初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、当センターでは新たに策定した中期計画に基づき事業を進めておりますが、事業を支える大事な会員数、とりわけ女性会員数の伸び悩みが続いております。

これは全国的な傾向ではありますが、この対応策として女性会員が就業しやすい分野で新たな事業に取り組むこともひとつの打開策ではないかとの観点から、昨年度から放課後児童クラブ補助員業務に積極的に取り組んでおり、契約実績において今年度は昨年度の二倍となる勢いです。

また、女性会員の活動促進に向け今年度で立ち上げた「女性部会」が本格的に活動を始めており、今後も積極的に新規事業を開拓し、就業機会を増やすことで会員の増加に努めていきたいと考えております。

また、公共団体や民間事業所、あるいは一般家庭からの様々な要望に出来る限り対応していくことは勿論であり、特に要望の多い樹木の剪定作業や冬囲い作業を始めとする技能作業については、これからの社会の高齢化に伴い要望が益々増してくると思われれます。

こうした業務に対応できる会員の育成に努めながら、地域に密着したセンターとして、引き続き貢献してまいりたいと考えております。

最後に、会員とご家族皆様のご健康を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年の抱負



上越市長
村山 秀幸

新年あけましておめでとうございます。

清々しい新春を迎え、この新しい年が上越市シルバー人材センターの会員の皆様、職員の皆様にとりまして、喜びと希望にあふれる幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。

貴センターにおかれましては、会員の皆様のご尽力、ご努力のもと、幅広い分野でご活躍いただき、高齢者福祉の増進、地域社会の活性化に大きな役割を果たしていただいていることに深く敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

人口減少と少子高齢化が進み、地域の労働力が減少する中であつて、長年にわたり様々な分野で地域の発展に尽力してこられた会員の皆様の知識や技能、そして経験は、地域を支え、豊かにする、かけがえのない「まちの力」であり、シルバー人材センターが担う役割はますます高まっていくものと思えます。

このような中、皆様には放課後児童クラブ事業に積極的に携わっていただき、また、女性会員の確保や活動促進に向けて、新たに女性部会を立ち上げ、女性向けの講習会や講座を実施されるなど、地域や時代のニーズに対応した取組を積極的に進められておられます。

市といたしましては、誰もが住み慣れた地域で、生きがいをもちながら安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向けて、就労機会の提供や高齢者相互の支援活動、ボランティア活動等への参画に対する支援などを通じて、地域を担う高齢者の皆様の活躍の場を創出し、ともに支え合うことができるまちづくりに引き続き取り組んでまいります。

会員の皆様におかれましては、これからも、それぞれの地域の持続的な発展にお力添えをいただき、健康管理にご留意いただきながら、生涯現役でいきいきと活躍されることを期待いたしております。

結びに、上越市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

新年の抱負

年男・年女の皆さん



横尾 ヨシ
(頸城区)

私は平成二十五年に会員になり今年で六年になります。原稿の依頼を受け、年を重ねてしまった事を改めて実感しました。しかし、考えてみれば現役で働いていた頃とあまり変わらない生活のあり方にこれもシルバーで働かせてもらっているお陰かなと感謝しています。今は特別養護老人ホーム「いなほ園」で施設内清掃の仕事をしていますがこれからも身体に気を付けて働いていきたいと思えます。



小出 悦男
(柿崎区)

子年生まれの七十二歳、七十代なんて他人事と思っていました。自分もなつてしまいました。若いつもりでも「どっこいしょ」「よっこらしょ」の言葉が頻繁に出てきている今日この頃です。

シルバーに入会して、間もなく六年になろうとしております。仕事をいただいて、健康なことと孫に少しの小遣いをあげることを生きがいに「健康寿命」を伸ばそうと思っております。今後も健康に気を付けて頑張りたいと思えます。



竹内 貞雄
(中郷区)

シルバーの会員になり三年が過ぎました。この間、講習会に参加させてもらい刈払い機作業の教育修了証もいただき、今は、主に管理業務、草刈り、小型除雪機での除雪作業に従事しています。決められた日時に仕事をさせてもらえるのが気持ちの張りのひとつになっています。仕事を続けられるのも元氣であればこそです。今後も健康に気を配り、安全作業に心がけていきたいと思っております。



池埴 幸子
(上雲寺)

私もついに年女？何回目!!と年を忘れたカナリアの如く飛び回る七十二歳です。

会員になつて一年弱ですが、「放課後児童クラブ」の仕事では、子ども達と触れ合い楽しい時間を過ごすことができました。また、女性部会の役員をさせていただくなど大勢の皆様と交流することができました。これからも仕事や趣味(生け花・マジック等)に筋力づくりにと励み、充実した日々を過ごしていきたいと思っております。



女性部会 この一年

「女性部会」発足一年目の活動を振り返って



女性部会 部会長
渡邊 昌子

あけましておめでとうございます

新しい元号「令和」を寿ぎ、同じく女性部会が発足いたしました。顧みますと女性部会の立ち上げは、女性会員の入会しやすい環境を作るため活動計画を立て、「事務局だより」にも報告しております。通り、第一回は六月に「お菓子作り」を計画、二十三名が参加され、美味しいお菓子が出来上がった時の喜びを共有する事が出来ました。九月には会員ハイキング行事に、豚汁作りに協力させていただきました。

活動計画第二回は、「シニアビューティー講座」。三十名の参

加があり、メイクを楽しみながらそれなりにキレイになれた事に大喜びでした。ここでは会員だけの参加ではなく、一般の参加もあり、シルバー会員入会のきっかけにも繋がりました。

また、シルバー人材センター主催のフリーマーケットで、女性会員の方々が家庭菜園で採れた野菜の販売に参加され、コミュニケーションの場となり、会員の方々に広く知っていただきました。

人生百年時代、生涯現役社会の中で健康で仕事が出来事に感謝し、知識を吸収しながら「自分磨き」をしていきたいと思っております。

女性部会をよろしく願っています。



お菓子づくり講習会



視察研修



生け花教室

シニア・ビューティー講座に参加して 須藤志雅子(住吉町)



四月に夫婦で入会し、先輩の皆様方にご教示いただきました

ら草取りに従事してまいりました。おかげで、化粧とはほとんど無縁だった私の顔は、日焼けして真っ黒。本講座は、肌の手入れの仕方を知る絶好のチャンスと思い、参加を申し込みました。当日は、胸ときめかせながら参加。パワーポイントでの丁寧な講話を拝聴し、実際に化粧品を使って手入れやメーカーシップを教わりました。



毎日わずかな時間でも鏡に向かう時間を作ろうと意欲が湧きました。本講座は、鏡の中の自分を通して、心とゆつくり向き合う時間にもなりました。はつらつと健康で年を重ねるためには、身だしなみに留意し、体を適度に動かし、そして、心持ちもビューティーでいなければと悟りました。

本講座を企画・運営してくださった皆様、有難うございました。

女性部会年間活動

4月1日 部会発足

■6月25日(火) ※第一回主催事業
簡単お菓子作り講習会
23名参加

■9月10日(火)
視察研修(南魚沼SC)
9名参加

■9月19日(木)
シルバーハイキング
*部会員4名が豚汁作り
30名参加

■9月30日(月) ※第二回主催事業
シニア・ビューティー講座
11名参加

■10月18日(金) ※第三回主催事業
福祉施設ボランティア
17名参加

■12月17日(火) ※第四回主催事業
迎春用生け花教室
17名参加

★事務局より★

女性部会が発足した初年度の活動を、会員の皆様のご協力により予定通り無事終了することが出来ました。

来年度は大変好評だった「ビューティー講座」の第二弾として、「ハンドマッサージとネイル講習会」等々、楽しい事業を計画していますのでご期待下さい。

来年度も皆様の参加をお待ちしています。(事務局担当 原田)

シルバーの活動に参加しました

安全運転講習会を受講して



田中 保行
(春日山町二)

最近、高齢者の運転ミスが多発しており、事故を起こさず安全に運転したいと願っていたところ、センターから安全運転講習会の開催案内があったので受講させていただきました。



講習は自動車学校で行われ、講話・視力検査・シミュレーターでの運転適性検査に続いて、実際に教習コースを走りながら緊急回避の方法等を体験しました。思わず何十年前前の免許取得時の緊張感を思い出しました。仕上げの路上走行では、自分のいつもの運転を全て疑いながら慎重に走行しました。運転適性検査の結果により、実年齢としての能力は悪くなくとも若い世代と比較すると劣っていること等、現状を把握することができ、今後の運転に有意義な講習会でした。

冬囲い講習会に参加して



須藤 俣之
(住吉町)

九月二十六、二十七、三十日の三日間、板倉コミュニティプラザと増村朴斎記念館を会場に冬囲い講習会が開かれた。

参加者二十名弱。一日目は座学で冬囲いに関する知識を得る。積極的に講師に質問する人を見て経験の豊富さを感じた。

二、三日目は、少人数グループに分かれて実習。全員で「しぼり」を行った後、グループ毎に樹木が振り分けられ、「竹支柱」「丸太支柱」「雪吊り」にそれぞれ挑戦した。縄の結び方もおぼつかない自分には、グループの人に迷惑をかけるから悪戦苦闘。技術を身に付けるには実践あるのみ。



今年の現場経験をもとに来年の講習会に参加出来るなら、得るものは多いだろう。貴重な体験の場を提供いただき感謝申し上げます。

第15回 就業先拝見

こんな仕事をしています

機械除草に誇りを持って



田中 靖洋
(吉川区)

2010年に定年退職をして、この地に越して来ました。何か仕事はないかとシルバー人材センターに行き相談したところ、草刈りの仕事はどうかとの話がありました。

早速、草刈り機を買い、先輩の後について見様見真似で無我夢中で働きました。大変な仕事だと思いましたが、段々と楽しくさななってきました。それは自分が作業して歩いた後が綺麗になっていくからです。それからは仕事を選ばず、出来ることは進んで行うように心がけています。

今では毎日が充実し、仕事仲間とのコミュニケーションも上手に取れるようになり、この仕事に誇りを持って、頑張っています。



ホームセンターで楽しく



笹川 洋
(東木島)

平成三十年四月からホームセンターチームサシ新井店で週二日働いています。仕事の内容は機械修理メンテナンス、組み立て、品出し作業、木材カット、接客等です。機械メンテナンスは難しいことも多々ありますが、仲間や社員の皆さんに教えていただきながら楽しく仕事をしています。修理が上手いってお客様に喜んでいただいたときは嬉しいです。品出し作業は品物の場所を覚えるのが大変で、時間ばかりが過ぎていきましたが、最近は慣れてスムーズに品出しが出来るようになりました。接客はお客様の要望される場所への案内、アドバイス、広い店内でのお年寄りの対応等ですが、仕事に顔見知りの方々に会うのも楽しみの一つです。これからお客様との出会いを大切に、健康に留意し楽しく頑張っています。



★納涼会

会員互助会の納涼会を、八月七日(水)春日新田の内山料理店で開催しました。当日は、市長代理として市健康福祉部大山部長様にご出席いただき、市長からの激励のご挨拶をいただきました。会員等七十八名が出席し、カラオケや抽選会で大いに盛り上がりました。

★親睦旅行

今年は十月九日(水)・十日(木)の一泊二日で、福島県芦ノ牧温泉への親睦旅行となりました。会員四十二名が参加し、今回は貸切りの展望列車で昼食を食べ、「大内宿」や「塔のへつり」等の観光地を見学しました。

★忘年会

互助会最後の行事である年末恒例の忘年会を十二月四日(水)、内山料理店において開催、会員等六十九名の出席となりました。

当日は、恒例の福引きやカラオケで楽しい時間を過ごし、最後に万歳を三唱、新たな年に向けてお互いの活躍を誓い合いました。

当日は議会で多忙の中、土橋



ボランティア・頸北の皆さん



親睦旅行・展望列車



納涼会・踊り?の輪

副市長様からご出席いただき、ご挨拶をいただきました。

★清掃ボランティア活動

十月の「全国シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に合わせて十月三日(木)と十一日(金)にシルバー主催の清掃ボランティア活動が実施されました。

昨年度同様、市内四会場(高田、柿崎区、板倉区、中郷区)で開催、合計で五十四名(昨年は八十四名)の会員が参加しました。残念ながら、近年参加者が大幅に減少しています。次回は是非、多くの会員の皆さんの参加をお願いします。

シルバー会員互助会通信

仲間づくりが活発化しています(サークル活動紹介)

ゴルフ同好会

- ◆代表者 長田 久夫
- ◆会員数 十六人
- ◆活動日 随時
- ◆活動内容 随時
- ・年三回コンペ



ハイキング同好会

- ◆代表者 重野 耕作
- ◆会員数 十六人
- ◆活動日 毎月一回
- ◆活動内容 随時
- ・現地活動



実用筆耕勉強会

- ◆代表者 渡邊 昌子
- ◆会員数 十七人
- ◆活動日 毎月第2・4火曜日
- ◆時間 九時半〜
- ◆場所 本所会議室



塗り絵サークル

- ◆代表者 内山 桂
- ◆会員数 十人
- ◆活動日 毎月第1・3水曜日
- ◆時間 九時半〜
- ◆場所 本所会議室



ご冥福をお祈りいたします

互助会規程に基き、亡くなられた会員へ幹事が弔慰金をお届けしました。

(機関紙第六十八号掲載以降に亡くなられた皆さん)

- ★故 田中 憲二 様 (下源人)
- ★故 早津 力也 様 (板倉区)
- ★故 羽根田克巳 様 (安江二)
- ★故 菱谷 泰久 様 (三ツ橋)

あとがき

令和最初の新年を迎えました。前述の通り今年度に計画した事業は全て終了しましたが、会員の参加率は芳しくありません。

会員の皆様のご協力で「令和」という新時代にふさわしい元気のある互助会にしてください。今年もよろしく願っています。(事務長 池田 勝)

★新規のサークルを設立したい人は事務局まで。(互助会にお繋ぎします)
★各サークルへの入会希望者は事務局まで。(代表にお繋ぎします。)

事務局だより

<配分金と税金について>配分金収入に対する所得税法上の取り扱いについて

会員の皆様が受ける配分金は、所得税法上「雑所得」とされ、受け取った配分金収入は期間内(2月17日(月)～3月16日(月))に確定申告をする必要があります。

配分金収入に対しては、「**家内労働者等の事業所等の所得計算の特例・租税特別措置法第27条**」より、65万円を上限として最低保証必要経費が認められます。

なお、配分金収入と給与所得(シルバー派遣による賃金)がある場合は、65万円から給与所得控除額を控除した残額が配分金に係る必要経費となります。

また、公的年金を受給している場合は、配分金収入とは別に公的年金等の控除が受けられます。

【計算例示】 ※会員A(66歳)の年間収入は次のとおりでした。

- ① 配分金収入 70万円
- ② 給与収入 50万円(シルバー派遣による賃金)
- ③ 公的年金収入 130万円

計算方法 (1) 配分金収入及び給与収入に係る計算

- ・給与収入(50万円) - 給与所得控除額(50万円) = 0円 (A)
- ・配分金収入(70万円) - 必要経費(65万円 - 50万円) = 55万円 (B)

(2) 公的年金に係る計算

- ・公的年金収入(130万円) - 公的年金等控除額(120万円) = 10万円 (C)

※公的年金等控除額は、受給者が65歳未満と65歳以上が異なります。

(A) + (B) + (C) = 0円 + 55万円 + 10万円 = 65万円

- ・所得金額(65万円) - 基礎控除(38万円) = 27万円

- ・課税所得金額(27万円) × 税率(5%) × 復興特別所得税(102.1%)

= 13,700円(100円未満切捨て) … 税額

◆配分金収入、給与収入、公的年金収入以外の収入がある場合の所得金額及びその他の控除額については、高田税務署(電話523-4173)へおたずねください。

地域懇談会の開催について

地域懇談会は、事務局からの現状報告や、会員の皆さんからシルバー事業の運営や互助会活動に対して直接声をお聞きするもので、今年度も二月十四日(金)から八会場で開催する予定です。

地域懇談会は、大切な情報交換の場であり、懇談会への出席は会員として大切な活動のひとつです。日程については地域班長を通じて案内文書でお知らせしますので、都合をつけて是非ご出席下さい。



会員数	
(2020.1.1現在)	
男	808名
女	300名
合計	1,108名
本所	866名
頸北支所	242名

季節のスケッチ



極楽橋(高田公園)
撮影・広報対策委員

関川 雅夫

あながき

あけましておめでとうござい
ます。

主に「生きがい」の写真を担
当させていただいています。趣
味の一つとして写真撮影をして
います。

デジタルカメラがあり、デー
タ保存だけなら費用はかかりま
せん。

散歩程度の体力があれば大丈
夫、シニアにはもってこいの趣
味です。

今年もよろしくお願いたし
ます。

(広報対策委員 関川 雅夫)